

1.3. 市受託事業

(1) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため巡回訪問し、安否確認や見守り、声掛け総合相談等を実施しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数（延べ）	4 ヵ所	訪問した災害公営住宅団地数
	戸数（延べ）	695 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	204 件	訪問したが不在（状況確認）
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	0 ヵ所	訪問した防災集団移転先数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	0 ヵ所	訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	0 件	住宅等の問題
	健康相談	3 件	身体的健康の問題
	精神的問題	0 件	PTSDなど精神的問題
	介護関係	2 件	介護保険等相談
	家族関係	0 件	DVなど問題
	交通等	0 件	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	経済的な問題
	交流	0 件	孤立や交流等の問題
	傾聴	5 件	
	その他	3 件	上記以外の問題など
	合計	13 件	
お茶会等イベント活動	交流イベント（他団体共催含む）	83 2ヵ所	交流会等への援助活動
	参加者数（延べ）	869 人	
地域支援活動	自治会等	0 回/1ヵ所	地域行事への参加協力
	参加者数（延べ）	0 人	
広報公聴活動		232 部	高齢者相談室の活動、イベント等の周知
各種連絡調整会議	行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等	3 回	行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等との情報共有
職員研修状況	内部研修	0 回	社協内部研修会実施
	外部研修	1 回	外部研修会への参加

【成果】市高齢介護課との連携の下、要支援世帯を中心に見守り・声掛けを含む訪問活動も計画的に取り組みました。感染症予防対策として、マスク着用を継続し、対面での訪問活動を行いました。また、南郷3区自治会においては、コロナ禍で休止していた季節行事が再開され、多くの方が参加しており必要に応じて援助活動を行いました。その他、緊急時には、専門機関と情報共有するなど連携しながら対応することで、入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化により亡くられる方や施設入所で退去される方、認知症の症状が疑われる方も増えています。このような状況の中、本事業が令和7年度に終了するに当たり、健康面や精神面で心配のある方が住宅内や地域からの孤立防止について自治会へどのように繋いで行けば良いか、今後も専門機関や民生委員・児童委員等と一層の連携が必要です。

【今後の取組】令和7年度で本事業が終了することから、住民同士の協力が必須になると思われます。健康面や精神面で心配がある方への支援には自治会や民生委員の方と連携し、住民が主体となる住宅になるよう働き掛けて行きます。そのために、今まで以上に専門機関との連携や協力を強化し、住民の安心・安全な日常が確保できるよう努めます。

【決算】事業活動収入 8,840,757円 事業活動支出 8,840,757円
当期資金収支差額 0円

(2) 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者に関する、介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し、解決に向けた支援を行いました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防総合	契約のみ	その他
4	60	33	15	74	20	12	30	5	1	38	0	12
5	67	57	12	87	16	4	59	9	7	41	4	16
6	76	39	27	81	7	19	57	5	2	46	1	10
7	73	45	27	63	9	18	43	4	3	41	3	13
8	69	41	29	82	30	28	27	9	10	32	6	10
9	68	69	21	61	37	12	25	25	5	26	16	10
10	91	70	31	81	9	6	51	16	20	41	26	10
11	88	74	15	65	7	5	44	14	2	48	26	8
12	87	65	20	112	11	44	31	35	4	43	8	19
1	75	53	23	91	24	10	35	25	4	31	7	28
2	66	42	23	87	4	22	32	24	6	38	2	15
3	75	75	23	90	54	3	41	24	7	34	9	9
合計	895	663	266	974	228	183	475	195	71	459	108	160
前年度	943	568	233	1014	131	110	577	188	97	502	38	169

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月～5月の8日間	主任介護支援専門員更新研修（オンライン）	宮城県庁
5月15日	認知症地域支援推進会議	気仙沼市役所
6月26日	警察との情報共有会議	気仙沼市役所
6月28日	唐桑地域多職種連絡会事例検討会	唐桑総合支所
7月2日	居宅介護支援専門員研修会	気仙沼市役所
7月17日	包括支援センター職員研修（オンライン）	フォレスト仙台
7月19日	気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
7月23日	気仙沼市地域包括ケア推進会議	気仙沼市役所
8月2日	高齢者権利擁護推進研修（オンライン）	仙台弁護士会館
8月9日	地域包括支援センター職員研修（オンライン）	フォレスト仙台
8月20日～21日	認知症キャラバンメイト養成研修（オンライン）	東京ガーデンシティ
9月6日	地域包括支援センター職員研修（オンライン）	仙台弁護士会館
10月11日	居宅介護支援専門員地区連絡会	市民福祉センター
11月19日	気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所
11月28日	多職種連携研修会	階上公民館
12月～3月までの15日間	令和6年度介護支援専門員実務研修	宮城県庁
12月4日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
12月20日	警察との情報共有会議	気仙沼市役所
12月24日	令和6年認知症キャラバンメイトスキルアップ研修	気仙沼市役所
1月22日	令和6年度気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所
1月23日	令和6年度宮城チームオレンジコーディネーター研修	仙台合同庁舎
2月1日	令和6年度アセスメント研修会	宮城県医師会館
2月14日	多職種連携研修会	新月公民館
2月19日	認知症ケア推進会議	保健福祉事務増
2月20日	成年後見制度に関する勉強会	気仙沼市役所
2月21日	フレイル予防検証報告会	気仙沼中央公民館
3月7日	生活支援体制整備事業に関する研修会	市民福祉センター
3月14日	介護保険運営委員会	気仙沼市役所
3月22日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会総会	気仙沼市役所

【成果】「唐桑地域多職種連絡会」で医師、市の保健師、居宅介護支援事業所と共同で研修会を実施することで連携強化を図ることができました。また、認知症や精神疾患の利用者への対応について地域ケア会議を実施し、問題解決に繋げることができました。

【課題】認知症の独居や老夫婦世帯の増加、高齢者と何らかの障害を持つ世帯への支援や高齢者虐待等複雑な対応が増えています。継続して「地域ケア会議」を開催し、関係機関で連携して支援できる体制を構築していく必要があります。

【今後の取組】今後に取り組む業務として、気仙沼市の重点的に行う業務に沿い、①介護予防の推進②権利擁護に関するネットワークの強化③総合相談支援連携機能強化④認知症政策の推進について、関係機関と連携して取り組みます。

【決算】事業活動収入	28,574,245円	事業活動支出	26,348,805円
		その他の活動による支出	3,983,300円
		（運用基金積立金繰出し含む）	3,000,000円
		当期資金収支差額	-1,757,860円

(3) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、相談に関わり支援しました。新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら訪問し、利用者や住民等へも広く感染予防の注意喚起をしました。地域から認知症の方のケースや虐待の相談も増えており、随時対応しました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防支援	契約のみ	その他
4	68	50	27	85	10	4	52	15	10	53	1	17
5	91	62	39	103	10	9	59	8	28	49	7	34
6	78	50	34	91	12	0	63	12	31	45	1	11
7	83	67	32	105	10	2	87	9	21	51	0	24
8	98	69	31	108	18	4	48	8	28	68	18	16
9	88	60	19	93	8	0	45	14	20	63	18	4
10	87	45	24	121	5	7	65	24	29	46	8	6
11	101	72	42	93	8	9	64	27	30	43	16	10
12	86	60	31	122	32	6	60	13	29	55	9	9
1	83	50	58	143	19	1	98	21	18	75	6	13
2	84	64	33	119	5	19	72	23	10	75	4	8
3	95	67	37	96	14	1	73	24	15	53	8	12
合計	1,042	716	407	1,279	151	62	786	198	269	676	96	164
前年度	1,009	596	365	1,169	208	46	787	107	252	527	34	255

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月・6月・8月・10月・2月	けあビジョンホーム運営推進会議	けあビジョンホーム
令和6年5月15日	認知症地域支援推進員会議	ワンテン庁舎
5月15日	認知症初期集中支援チーム員会議	ワンテン庁舎
5月28日	気仙沼栄養士会研修会	すこやか
6月26日	気仙沼警察署と地域包括支援センター情報交換会	ワンテン庁舎
7月2日	居宅介護支援専門員研修会	すこやか
7月23日	地域包括ケア推進協議会・ネットワーク推進員事務局合同会議	ワンテン庁舎
8月19日	介護保険運営委員会	ワンテン庁舎
9月2日	認知症初期集中支援チーム員会議	ワンテン庁舎
11月27日	難病患者支援者研修会	気仙沼保健所
12月20日	気仙沼警察署と地域包括支援センター情報交換会	ワンテン庁舎
1月23日	宮城県チームオレンジコーディネーター研修	仙台合同庁舎
1月28日	地域包括ケア推進定例会	ワンテン庁舎
2月19日	認知症ケア推進会議	気仙沼保健所
令和7年3月18日	気仙沼市立病院地域包括ケア病棟研修会	気仙沼市立病院

【成果】地域ケア会議を開催し、関係者間で課題や情報の共有を行い、地域での見守り体制の強化を図り、地域から認知症サポーター養成講座の依頼を受け実施しました。

【課題】緊急時に連絡がつかない方や身内の方と疎遠になり生活課題が多い方には関係機関との連携を密にし、随時情報の共有と支援を図っていく必要があります。

【今後の取組】一人ひとりの課題に向き合いながら、地域で暮らせるよう関係者や関係機関と連携し、地域ケア会議等で情報の共有を図ります。独居や老世帯が増加していることから、緊急時の連絡先を複数確認し、迅速対応できるよう関係機関と連携します。

【決算】事業活動収入	25,883,273円	事業活動支出	23,394,493円
		その他の活動による支出	4,137,840円
		(運用基金積立金繰出し3,000,000円含む)	
		当期資金収支差額	-1,649,510円
		(前期末支払資金残高から充当)	

14. 団体事務

事業名	内容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。 【会務等実績】 総会（7月）、役員会2回（4月、5月）、地区会長会議（10月、11月、3月）、正副会長会議3回（5月、10月、11月）、監査会（5月） 【成果】昨年に引き続き、ホテル観洋において総会と懇親会を開催しました。また、今年度より県主催の研修については、全て対面形式となったことから、各研修へ事務局職員随行による参加支援を行いました。 【課題】民生委員活動環境の充実にに向けた研修機会の提供や委員活動に係る課題の把握に努めながら、事務局運営を滞りなく進めて行くことが必要です。 【今後の取組】円滑な単位民児協運営が図れるよう、引き続き市の担当部署と連携を密にして取り組みます。また、令和7年12月1日の一斉改選に向け準備を進めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整及び研修等の事業を行いました。 【成果】気仙沼市民児協との共催事業として、12月3日に本吉町のはまなすホールにおいて相談技法研修会を開催しました。開催に当たり、会場及び講師等の調整を行った他、県民児協の協力を得て、近隣市町へも広く参加の周知を行っています。 【課題】南三陸町民児協との広域的な社会課題の共有と課題解決に向けた情報共有の機会確保とスムーズな団体会務への取り組みが必要です。 【今後の取組】南三陸町民児協と連携の下、役員会及び圏域での研修会等の開催に向け、南三陸町民児協事務局と連携しながら取り組みます。
気仙沼市共同募金委員会	【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。 【実績】 監査会1回（5月）、運営委員会3回（6月、11月、3月）、正副会長会議3回（6月、10月、3月）配分審査会（12月）、街頭募金運動（10月1日、2日、5日） ※11月の運営委員会は書面表決方式で実施 【成果】10月からの募金運動に向け、地区社協や自治会等へ募金への協力を呼び掛けました。また、能登半島地震災害や秋田・山形の大雨災害、大船渡市の林野火災などへの義援金の呼び掛けに協力しました。 【課題】役員改選期にあたるため、地区社協や自治会等の代表者が変更となる団体もあります。丁寧な事業説明が必要です。 【今後の取組】効果的な募金活動が出来るよう、団体の代表者を含め住民に向けて広報等を通じ事業への理解を図り、助け合い・支え合いの意識の

	醸成を図ります。
気仙沼市ボランティア連絡会	【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、現在は気仙沼地区と唐桑地区の計12地区ボランティアクラブで構成されています。自主運営主体の団体組織となっていますが、地域福祉推進に向けて常態的に連携が必要なことから、運営に関する各種会議及び研修等の企画実施等の支援をしています。 【実績】総会、監査会（1回）、役員会（8回）、研修会（1回）、新春懇話会（1回）他団体会議への出席等 【成果】5月の役員改選により新体制での活動がスタートしました。つながりワーカーの研修を受講するなど、スキルアップを図ることが出来ました。 【課題】構成団体によっては、会員の高齢化や新規加入者が無い等の要因で活動が停滞している団体もあります。新体制となったことから、会員相互のつながりづくりをはじめ、活動の進め方や加入促進に関する取り組みの検討が必要な状況です。 【今後の取組】構成団体の会員同士が交流を図る機会を設け、取り組みなどの情報交換ができる環境整備に努め、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。
気仙沼市老人クラブ連合会	【概要】市老人クラブ連合会の事務運営の適正化に努めるとともに、各単位クラブの活動の活性化を図りました。 【実績】会議等については、総会1回、定例理事会6回、監査会1回、専門部会2回、市高齢者事業運営委員会3回を開催し、組織の運営と情報共有を円滑に行いました。 【成果】新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更されたことに伴い、活動制限が緩和され、健康体力づくり部主幹による屋内競技「フロッカー大会」「ユニカール大会」「ボウリング大会」を実施しました。これらのイベントには多くの会員が参加し、活気のある交流と健康づくりの場となりました。 また、市高齢者事業についても、すべての事業を4年ぶりに開催することができ、予選会や練習会も地区ごとに実施され、地域ごとのつながりを深める活発な活動が展開されました。 【課題】会員の高齢化や後継者不足といった課題は依然として続いており、会員の加入促進が引き続き重要な課題となっています。リーダーの育成が急務であり、単位クラブの運営体制や事業の在り方、リーダーとしての役割や分担について再確認・見直しを行いながら、今後も活動の充実に取り組みます。
本吉町老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の推進と活性化を図りました。 【実績】会議等（総会1回、監査会1回、単位クラブ会長会議4回、女性部総会1回、女性部会1回） 事業等（グラウンドゴルフ大会1回、移動研修会1回、健康づくり交流会1回、芸能鑑賞会1回、女性部研修会1回、女性部移動研修会1回）

	【成果】事業については、事業計画どおり実施してきました。例年開催している事業のほか、会員の高齢化により事業の見直しを行い、今年度は新たに健康づくり交流会と芸能鑑賞会を開催したところ、多くの参加をいただきました。会長会議においては、事業の再検討を行い、企画実施につなげることができました。また、各クラブの活動状況について情報交換を併せて行うことで、現状を共有する機会となりました。女性部事業についても、講話と併せて調理実習を楽しみながら、学ぶことができました。 【課題】会員の高齢化による役員の後継問題から会員の加入促進、今後の事業運営の見直しが必要となっています。 【今後の取組】会員の実情に合わせ、安心して参加できる事業を計画し推進していきます。引き続き、新規会員の加入促進のため、広報啓発活動を推進して、会の円滑な運営に努めていきます。
本吉地区遺族会	【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携協調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえることを祈りながら事業を推進しました。 【実績】会議等（総会1回、監査会1回、役員会3回） 事業等（忠霊塔参拝事業、団体参拝事業） 【成果】例年通りの事業を実施することで、戦没者への敬意と戦没者遺族としての意識高揚に繋がりました。 【課題】会員の高齢化や世代交代による戦没者遺族意識の希薄化が進み、会員の減少だけでなく、役員・評議員も選出することが困難になってきています。 【今後の取組】今後の会の在り方の検討を含め、役員が中心となり、役員の後継や会員減少を防ぐ呼び掛けを行い、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世の中が今後も続くように会の取り組みを支援します。
気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会	【概要】本吉地域内の「連携・協働の場」のプラットフォームとしての役割を發揮するため、本吉地域内の4法人が参加し、地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に資することを目的に取り組みを進めました。 【実績】会議等（連絡会議 11回） 事業等（地域清掃活動、新任職員研修会、職員スキルアップ研修、介護・福祉映画上映会、先進地視察研修、子ども食堂、福祉まつりへの協力、介護フェスティバルへの協力、キャップハンディ体験への協力） 【成果】できる活動を継続して行うことで、法人間の連携が図られ職員同士でも顔の見える繋がりができてきました。 【課題】本吉地域内でも未加入法人もあることから、賛同頂けるような会運営を検討していく必要があります。今後補助金の活用できなくなることから、新たな財源の確保が必要です。 【今後の取組】本吉地域内の介護・福祉事業所が連携し、地域の実情に即した地域貢献事業などを創設して地域共生社会の実現に向けた取組みを進めることができるよう支援をしていきます。財源確保に向けた情報収集に努めていきます。